



夏の日差しを浴びて、輝くようなはまぼうの花を見に出掛けてみてはいかがでしょう。  
(森町 辻克美)



夏の河口を彩るはまぼうは、学名を「ハイビスカス・ハマボウ」と言い別名を「はまぼうき」といいます。  
原産地は赤道直下の南洋で、本来は常緑樹ですが日本の気候風土にあうように落葉樹になったようです。  
太田川の河口にあるはまぼう公園や、仿佛川河口から上流約2kmにかけて兩岸に200本前後が自生しています。この群落の中には、国内最大級の直径を含む大径木のはまぼうがあり、このような大径木は群落としては県下最大だそうです。



写真提供: 磐田市役所福田支所

## 太田川の河口はまぼう公園

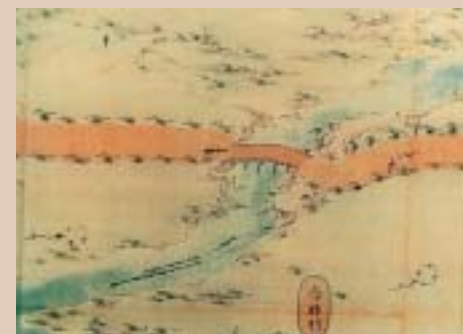
# はまぼうを見に行こう!!



北川公園にも咲いているよ。場所は中面の地図を見てね。



三ヶ野橋 三ヶ野の井台(昭和56年4月)



三ヶ野橋板橋 東海道分間絵図(文化10年)



三ヶ野橋 三ヶ野の井台(昭和12年頃)

## 名所・旧跡探訪 御厨屋用水三ヶ野の井台

「遠江国風土記」の磐田郡誌によると三箇野川源は二つ、太田川、小矢部川(小敷川)、南に流れて飯布郷(向笠)に至り、これ合し、三箇野において三箇野川といわれていました。また、三ヶ野は三箇野ともかかれ、三ヶ野の池に三箇野川(今の古川)の清流が三ヶ野台地に向かい大きく湾曲して流れていました。三ヶ野原よりこんこんと湧き出て流れている泉川(三ヶ野下の田水)が三箇野川に入る様子を平安時代三十六仙の一人藤原兼輔の歌に残されています。



御厨屋用水路跡(昭和63年1月)

また、三ヶ野用水(御厨用水)は、太田川筋から新堀を通じ、御厨屋北輪之内の9ヶ村へ供給する用水堀を三ヶ野に沿ってつくり、現在の磐田用水が通水するまでの約240年間、なくてはならない水として利用されておりました。この用水に至る経過については、三ヶ野村用水訴訟の裁許状に記されており、後に下流域の農民には感謝されたとのこと。かつての太田川は、三ヶ野村を囲むように大きく曲がりながら流れていたため、太田川の堤防の決壊が人々を苦しめており、大正8年、昭和5年まで改修工事が行われ、新しくなった太田川(新川)に対して古川と呼ばれ、現在地域の親水公園として親しまれています。  
(田原歴史愛好会 鈴木好直)



御厨屋用水路の彼岸花(平成15年9月)

## 川辺で遊ぼう!!

ジメジメした季節もあと少しのガマン。梅雨が明ければまた暑い夏がやって来る。クーラーのきいた涼しい部屋もいいけれど、今年は川遊びにでかけてみよう!! 普段見ている穏やかな川の流れも、水着と水中メガネで入れば天然の流れるプールか水族館!! 水面に吹く風は涼しげで、キラキラ照り付ける太陽も心地よい。もしかしたら、今まで見た事もない様な生き物にあえるかも!?  
(掛川市 金田修哉)



## リポートレッキング

太田川に隣接する今井小学校では、水辺を生かした様々な教育活動を取り入れています。中でも、袋井土木事務所との全面的な協力のもと、四年生が行う「リポートレッキング」は子どもたちに人気の活動です。太田川上流を徒歩で遡り、自然観察や水質調査を行う活動です。昨年度も、急流を友達と手を握り合って進んでいく姿や、夢中になって水生動物を観察する姿が見られました。  
協力することの大切さ、自然の美しさを実感できる、すばらしい活動とすることができました。  
(袋井市立今井小学校)



## てくてく太田川 第10号までの歩み



あなたも参加しませんか? ただ今、編集局員募集中です!

ご意見、ご感想をお送りください。また、太田川水系の川に関する情報もあわせて募集します。太田川情報編集局事務局まで。

編集局員  
磐田市: 安間美恵子、鈴木ふみ子、松下三郎、大石佳典、鈴木和男  
袋井市: 門名親宏、渡瀬 儔、鈴木敦子、下川恭子 / 掛川市: 金田修哉 / 森町: 辻 克美  
和岡親水公園管理委員会: 大橋 隆 / 水土里ネットいわた用水: 長島康男 / 他7名

## 袋井市政5周年記念事業 誇れるふるさと川の 川づくりプロジェクト

四季折々、いろいろな表情を見せてくれる川。古くから市民の生活の傍らには、川があり、喜びや悲しみ、人々の感動とともに流れてきました。川で出会い、川で潤い、川で育つ... 感動あふれる「誇れるふるさとこの川」を市民の手で未来の子どもたちへとつなぎます。  
「心なごむ ふるさとふるい川の川 再発見」をキャッチフレーズに、袋井市を東西に横切って流れる太田川水系原野谷川(掛川市居尻を起点として、太田川に流れ込む二級河川)とじっくり向き合って、川と自然が持つ力を、自分のためにも、子どもたちのためにも、どう生かしていくかを考えていきます。  
6月4日(土)の第1回原野谷川水辺環境学習会を皮切りに、「ふるさとふるい川の楽校」を開催していきますので、川のことを知る活動、川と自然を学ぶ活動への参加をお待ちしています。(袋井市役所環境政策課)

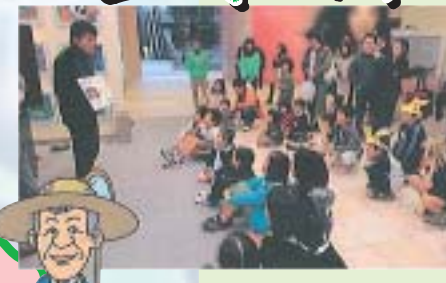
発行: 平成23年7月1日  
静岡県袋井土木事務所  
〒437-0042 袋井市山名町2番の1  
TEL (0538) 42-3289 FAX (0538) 43-0919  
Eメール fukudo-kasen@pref.shizuoka.jp  
fukudo-kikakukensa@pref.shizuoka.jp  
ホームページ http://doboku.pref.shizuoka.jp/desaki/fukuroi/  
編集: 太田川情報編集局  
(事務局: 袋井土木事務所河川改良課内)

# 太田川の仲間たち

## 水土里ネット

### 【生きもの-tonmae隊】

水土里ネットいわた用水では、「農」の大切さをわかりやすく子ども達に伝えるため、農地周辺の環境と一緒に調べています。多種多様な生き物がいて、その上に自分たちの命が成り立っていることや、私達が食べていくためには、土の中にいる小さな生き物も守っていかねばならないことを体験し、理解してもらいたいと考えています。まずは、生き物がこんな所に、こんな風に棲んでいるんだ、ということを知ることが大切です。



自然界のバランスを保ち、共生できる環境をつくることは、自然界で生きている全ての生きものにとって重視しなければならない課題です。昔田んぼに棲んでいた生きものたちを、もう一度田んぼに戻す試みが全国各地でも始まっています。

生きもの-tonmae隊に入って、キミだけの「マイ図鑑」を作ろう。  
詳しくはHPを見てね。HPアドレス <http://www.ikimono-map.jp>

### 【魚道】

効率の良い農業経営をするため、農林水産省は昭和40年代から50年代にかけて、田んぼの区画や用排水路、農道を整理し、大規模農家を育成してきました。その結果、用水路と排水路は分離され、河川とつながる田んぼの脇の水路は分断されました。元々田んぼで産卵したり、住処としていた生きものは住めなくなり、激減しました。そこで段差のある水路に魚道を設置し、田んぼの周りに生きものを戻すための取り組みをしています。  
(水土里ネットいわた用水 長島康男)



## 太田川流域ネットワーク活動団体

- A NPO法人桶ヶ谷沼を考える会
- B 見付宿を考える会
- C 今之浦川流域を美しくする会
- D ひょうたん池自然を考えよう会
- E NPO法人蟹田まちづくりネットワーク
- F 南みくり地区水辺の里を創造する会
- G 遠州ふくでohoかつぱ村
- H 遠州漁業協同組合
- I NPO法人袋井スポーツコミュニケーション
- J 袋井青年会議所
- K 生活の森袋井
- L 和田岡親水公園管理委員会
- M 太田川漁業協同組合
- N 森町森林組合
- O いいとこ広場の会
- P 原野谷川をきれいにする会
- Q 原野谷川漁業協同組合
- R 水土里ネットいわた用水

## 太田川をすばらしい河川に!

あなとも一緒に  
どうぞ

太田川流域ネットワークは2005年8月16日に流域で活動する20団体と自治体による準備会が発足し、間もなく6年目を迎えます。お互いの活動を尊重し、それぞれの活動紹介と現地視察、議論を重ねることにより相互理解を深めてきました。流域の中でこれだけ多くのグループが水辺に想いを込めて、独創的に多彩な取り組みをしていることはすばらしいことだと思っています。

川と洪水、川とごみ、川と生き物、川と子供、自然な川と人工物のあり方等々具体的な課題は沢山あります。みんなで手を取り合って太田川をすばらしい河川にしていましましょう。(太田川流域ネットワーク代表 寺田伊勢男)



川について学びます。



仕組みに感心。(現地視察の様子)



大きさを肌で感じます。(現地視察の様子) 水とのふれあい、サポートします。



① 太田川	⑨ 旧仿僧川	⑬ 沖之川	⑰ 初馬川	⑳ 中沢川
② 仿僧川	⑩ 祝川	⑭ 逆川	⑱ 掛川滝ノ谷川	㉑ 一宮川
③ 今ノ浦川	⑪ 磐田田中川	⑮ 馬込沢川	㉒ 掛川戸沢川	㉓ 伏間川
④ 古川	⑫ 原野谷川	⑯ 垂木川	㉔ 神代地川	㉕ 瀬入川
⑤ 倉西川	⑬ 蟹田川	㉑ 家代川	㉒ 海老名川	㉓ 三倉川
⑥ 磐田久保川	⑭ 小笠沢川	㉒ 西山沢川	㉓ 西之谷川	㉔ 葛布川
⑦ 半ノ池川	⑮ 法多沢川	㉓ 東山沢川	㉔ 敷地川	㉕ 大府川
⑧ 安久路川	⑯ 宇刈川	㉔ 倉真川	㉕ 小藪川	

## 和田岡親水公園

掛川市吉岡高田橋南に位置し、原野谷川沿いにある田園に囲まれた水辺で遊べる親水公園です。春には土手の桜が咲き、また夏には原野谷川の浅瀬で子供たちが安心して楽しく遊ぶことができ、川岸には「ハダシ」で歩けるコンクリートの歩道もあります。



8月15日には和田岡地域生涯学習センター主催で「納涼祭」が行われます。川面に映し出される花火に始まり、盆踊り、銭太鼓、灯籠流し…、親水公園ならではの風情のある納涼祭です。(地域の有志による出店もあります)タイムスリップしたような懐かしいお盆の夏の夜を満喫しに来てください。現在、造成中の多目的広場は「ミニサッカーのできる広場」を目指し活動を進めています。

(和田岡親水公園管理委員会事務局長 大橋 隆)

お問い合わせ/0537-26-2274

